

議

長 休憩を解いて再開をいたします。

(13時30分)

これより議案第12号平成31年度松田町一般会計予算の質疑に入ります。なお、詳細にわたっての質疑は13日の特別委員会において行われますので、この場では款項を中心とした大まかなことで質疑を行っていただきたいと思います。それではどうぞ。

3 番 井 上 それではですね、31年度予算について幾つかですね、絡む部分がございますので、質問をさせていただきたいと思います。

ここでですね、本年度におきまして籠場住宅、町屋住宅が供用開始をされました。以前ですね、これは平成29年10月の時点でこの松田町住宅のシミュレーションという表が提示されています。やはり議会としてですね、これだけの大規模事業を責任を持って注視をしていくということでお話をしてあると思いますので、この中にございます31年度分の収入、支出についてですね、それが31年度予算ではどのように計上されているかについてお伺いをしたいと思います。

まず、家賃収入については予算書の19ページに載っている部分の住宅使用料が該当すると思われませんが、この中にはやはり既存の住宅の使用料等が入っていると思いますので、その中でこのシミュレーションでは2,771万3,000円というふうな家賃等の収入見込みが記載されております。それが31年度予算では幾らになるのか。また同じく収入の中では、交付金の家賃低廉化分というのが102万1,000円ございます。ちょっと私の見方が悪いのか、国庫支出金、県支出金等を見てもそれに該当する部分はないので、これらの交付金についての31年度予算は幾らになっているのか。

それとですね、支出のほうでは、維持管理費、運営費等の部分が31年度で942万9,000円となっています。これは住宅管理費のほうで八百八十何万という金額が上がっていましたんで、その分維持管理費がこのシミュレーションの見込みよりも安くなっているのかというふうに想定できますけれども、これについてはいかがなものか。起債のほうの利子というのは後半、起債の一覧表にも出ておりましたので、それは確認できますので結構だと思います。もう一度ですね、家賃収入と家賃低廉化の交付金、維持管理費の金額についてお知らせいただきたいと思います。

総務課長 ただいまの井上議員の御質問です。籠場住宅と町屋住宅ということで、まず収入の、予算の収入の面でございます。ページが19ページになろうかと思えます。この中段の住宅使用料の中で公的賃貸住宅使用料現年度分、それと地域優良賃貸住宅使用料現年度分というところが、ここが90%の収入見込みで予算計上させていただいております。予算ベースで整理させていただきますと、まず、公的賃貸住宅の部分につきましては、前年度予算が228万9,000円、地域優良住宅については161万1,000円が前年度予算でございました。今回31年度で見込んでおりますのが公的賃貸が489万2,000円、優良住宅については2,180万5,000円ということになってございます。90%部分として見込んでおりますので、その差額の部分で見ますと、公的賃貸住宅のほうについては260万3,000円、地域優良賃貸住宅については2,019万4,000円というところで予算計上をさせていただいております。

それとですね、低廉化についてはですね、差し引きした中での管理費になっておりますので、先ほど歳出のほうでありました、ページでいきますと…49ページになります。49ページの中段になります、13委託料の維持管理運営委託料886万6,000円、ここがですね、2つの、籠場住宅と町屋住宅のほうの合わせた886万6,000円が維持管理運営費ということで計上させていただいております。

政策推進課長 すいません、ちょっと補足になります。先ほどのですね、19ページのですね、使用料の中の住宅施設使用料、4番でございます。そこにですね、駐車場使用料もございますので、ここを合わせた形の収入ということで御理解願えればというふうに思います。

3番井上 じゃあ、このシミュレーションの中に書いてある部分、家賃等の収入ということで、駐車場の部分の両方で178万2,000円がプラスされるということで。先ほどちょっと総務課長のほうの回答がよくわからなかったんですけども、この19ページに載っています489万2,000円というのは、籠場住宅に入る年間の家賃収入の90%が489万2,000円になるのかなというふうに理解を、先ほどのですね、当初予算の説明の中ではしていたんですけども、そうでなく、さらにこれから10%を切ってしまうというふうに先ほど聞こえたんですけども、それについて再度説明をお願いします。

総務課長 公的賃貸住宅使用料現年分の90%分で見込んでいる部分の金額というのが260万3,000円でございます。489万2,000円の、そのうちですね、前年、30年度の当初の見込みが228万9,000円で見込んでおりますので、予算ベースで見ますと260万3,000円でございます。31年度は。ただ、公的賃貸住宅使用料ということで、489万2,000円が年額の90%部分ということで御理解いただければと思います。（私語あり）

すいません、30年度も重なっていた部分で、ちょっとその部分を区別…30年度が籠場の場合重なっていますので、そこの部分を区別して金額を申し上げたので、ちょっと失礼しました。489万2,000円が90%分としてのかわねコート河内の収入部分として見込んでおります。

3番井上 じゃあ、再度確認しますけれども、じゃあ、ここのシミュレーションのほうで載っている2,771万3,000円というのは、31年度予算書のほうでは489万2,000円と2,180万5,000円と、27万円と151万2,000円の、2,867万9,000円ですか、2,867万9,000円ということで、2,771万3,000円を100万以上上回っているということで、このシミュレーションよりは収入額的には多いということで。あと、43ページのほうは…あ、43ページじゃなくて。すいません…49か。49ページですね。49ページのところは維持管理費としては942万9,000円というシミュレーションの表の金額が、さらによじめて886万6,000円だということで、よろしいということ。

じゃあ、あと、交付金低廉化分というのは家賃収入のほうからも引いてあるという金額で、じゃあ、実際にはここの部分というのは、この表の中でさっきの2,800万からさらに2,873万4,000円で、収入についてはほぼ追いつかっつというふうな理解でよろしいでしょうか。

総務課長 そのとおりでございます。正式な金額を申し上げますと、31年度予算について、駐車場を含めて2,847万9,000円でございます。

3番井上 ありがとうございます。じゃあ、これはですね、一応このシミュレーションについてのですね、検証というのは一応予算ということでさせていただきましたので、また30年度決算の時点ですね、確認をさせていただきたいというふうに思います。

あと1点よろしいでしょうか。

議 長 どうぞ。

3 番 井 上 それではですね、予算特別委員会ですと町長がいないことが多いということで、町長、今ここにいらっしゃいますので、お聞きをしたいと思います。103ページの中で、先日も一般質問の際にもちょっとお聞きをしたんですけども、足柄上地区の資源循環型処理施設ということで、先ほど担当課長の説明では、ごみ処理の広域化に係る経費だという説明がありました。政策的にですね、今現在は3町での、東部清掃組合でのごみ処理という方向性でやっています。この足柄上地区の資源循環型の処理ということで、将来東部清掃自体は老朽化がある程度進んでいるという状況の中で、町長ですね、将来に対するごみ処理のお考えというのを伺いたいと思います。

町 長 御質問ありがとうございます。この足柄上地区資源循環型処理施設については、もう長年の、ずっと積み重ねが各先輩たちからあったということもありますし、要は神奈川県で1つというようなことを言われてからいろんな議論があって、じゃあ、2カ所でもいいよという歴史があるというふうなことの中で今まで進んできたというふうに理解をしておりますので。せんだって、担当課長から話がありましたような情勢を踏まえたところで、これからいま一度この処理施設に向けてですね、1市5町で進めていくということの、また準備室が稼働するというふうなことの中から、今回は準備室としての支出ということで計上させていただいているところでございます。ですので、これから各施設を持っている組合長さんたち、また我々構成員としてですね、いつごろまでにどうしていくんだというのを、いま一度調整をしていく、スタートというふうになりますので、当町もですね、皆さん方の御意見をいただきながら、歩調を合わせながら進めていくというスタンスでは変わりがないということだけは申しておきます。以上です。

3 番 井 上 御回答ありがとうございました。じゃあ、まだ、今ここで準備室がスタートをするという時点で、余りですね、方向性としては決まっていなかったのかなというふうに理解をさせていただきました。やはり、広域的な行政の中で松田町はやっていくという立ち位置があるというふうに思いますので、その辺につきま

してはですね、また随時広域、ごみ処理の広域化についてのですね、情報等があればですね、議会のほうにお知らせをいただきたいという要望で終わらせていただきます。ありがとうございました。

議 長 ほかに。

2 番 田 代 まず初めに、31年度の予算編成、財政大変な中で御苦勞があったかと思えます。その中で質問をさせていただきます。

歳入の根幹をなす町税が減少しております。そういった状況の中で、事務事業が経常経費化しているということで、財政が硬直する傾向がうかがえます。見えます。そこで、今後の財政運営についてどのように取り組んでいくのか。詳細について所管する課長に、最後に総括的な考えについて町長にお伺いしたいと思しますので、よろしく願いいたします。

具体的に、先ほど可決いただきました…可決いたしました第6次総合計画審査特別委員会の中で、財政推計の中で町税が、スタート時であるこの新年度は15億3,800万。これが前期完了年度の2022年度、4年後には14億7,300万になってしまう。また、8年後の2026年、これについては14億5,400万円に減少していくと。31年対比で8,400万町税が減少してしまうという推計が出ております。前にも私、質問したんですけど、18年当時はたしか18億円ぐらい町税がありました。ですから、そのころと比べると4億円ほど減となっているという、非常に厳しい財政運営になっていくのかなという心配があります。そこで今回税収を少しでも上げるために、この間の2月の予算大綱の発表のときに、2月22日にコンビニ収納、これが新規事業として79万円の経費でスタートしています。非常によいことだと思います。

ただ、ここで私、1個疑問に思ったのが、町レベルで初めてコンビニ収納を行ったのが平成17年度、箱根町だったように記憶しております。箱根町は当時で60億、町税の収入が60億ほどありました。松田は当時でやはり18億、7億、そういった世界で、もう相当の、歳入の額が違うんだなということで。箱根町だから単独でシステム改修をして、2,000万ぐらいかけたというふうに聞いているんですけども、そういったことができるんだというふうに、高嶺の花でというふうな形で思っていました。それが松田町でもここで行うというふうなこ

とで、まず疑問点に思うのが、79万円というふうにこれ予算大綱に多分出ていると思うんですけども、システム改修、これの初期コストが含まれてないような感じなんです。そこでちょっと予算書をページめくってみましたところ、59ページをちょっとあけていただきたいと思います。59ページです。59ページの19負担金補助及び交付金、神奈川県町村情報システム共同事業組合負担金、これについては県内の町村で組合をつくって電算化を共同でやっているということで認識しているんですけども、これが今回5,041万3,000円見えています。前年が、平成30年が3,994万6,000円、おおむね1,000万以上上がっています。この中に多分コンビニで行うシステム改修的なものが入っているのかわかぬ。要するに、79万だとすごい安いような感じで、初期投資、それが入ってないような感じするんですよ。そういった中で、この関係の初期投資がどうなっているのかということ、まず1点お伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

税 務 課 長 ただいまの田代議員の質問にお答えいたします。まず、コンビニ収納につきましては今回科目として住民税普通徴収、それから固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、それから介護保険料、後期高齢者医療費、あと上下水道と簡易水道とをコンビニ収納する見込みでございます。

初期導入費用でございますけれども、昨年度、御存じのように8月から、今まで日立システムズさんだったものがTKCというものでシステムが変わりました。その中で、既に住民税、固定資産税、軽自動車税、それから国民健康保険税につきましてはパッケージングされてまして、初期導入費用がかからないということになります。介護保険料と後期高齢につきましてはオプション扱いですので、そこについては初期導入経費がかかりまして、1件当たり30万円、合計で20万円。それから月額の使用料としまして2万5,000円で、2科目ですので5万円、それが12カ月分。初期導入で60万円プラス税で、月額で年間で60万円プラス税がかかるということでございます。以上です。

2 番 田 代 確認させていただくと、システム共同事業組合、ここで昨年までは日立情報が行っていたと。その後、その受ける電算会社が変わってTKCに変わったと。これについてはもうパッケージになっているので、要するにシステムがもう先に組み込まれているので余分な金はいらないと。したがって、79万が経費だ

と、こういう考えでよろしいわけですか。

税 務 課 長 そのとおりでございます。その79万につきましては、これはコンビニで収納した際に1件当たり、コンビニ代行事業者さんに払う手数料、一応1件当たり58円見ていまして、プラスですね。その、大体、今、窓口納付やっている件数の3割程度がコンビニに移るような、近隣でそういう話でしたので、それを見込みまして79万を見込んでおります。以上です。

2 番 田 代 よく理解できました。このコンビニ収納については昔の箱根町さんがやったように、単独でやれば相当かかってしまうのが、共同事業化で非常に低く抑えられていると。これからも経常経費はこの79万ですか、ぐらいで推移していくということよろしいわけですね。

税 務 課 長 そのとおりでございます。

2 番 田 代 どうもありがとうございます。これは本当にそういう面ではすごいすばらしいのかなと。昔はもう指定金融機関に入れろというのが、いつでもどこでもということで、収納率は上がっていくのかなというふうに感じます。1点は理解できました。

次に、事務事業として立ち上げて、利便性の面から、今のコンビニ収納もそうなんですけども、もう便利だから、それはもう経常的にずっとやっていって、まずやめることはないと思うんですよ、利用者のことを考えると。これはこれで私すばらしいと思います。いい制度だと思うんですけれども、これまでもやはり事務事業としてたくさん立ち上げていたものが、ずっと今引きずっているような感じが多いのかなと。何を話したいかということ、事務事業で立ち上げたんだけど、どちらかというと経常的な事業、経常経費みたいな形で、もうそれを縮小することができないような感じで経費が膨らんでいくと。冒頭申し上げましたように、一方では収入が、町税がだんだん減っていくと。非常に厳しい中で経費がかかっているというふうなことで、ちょっと具体的にお話したいんですけども。31年度の新規事業で予算大綱で出てた、これだね、2月22日にもらった表の中で、こう見ますと、必ず新規事業だ、拡充事業だって出ています。これ順番に羅列してくと、町民文化センター自主事業、それと今の税の、税及び料の徴収に関する経費、6ページの小規模保育事業。9ページ、

新松田駅周辺整備推進事業の一環として立地適正化計画を策定していくと。11ページ、中学校就学準備助成金、一貫教育に係る学校制度のあり方の経費、最後に、松田サミット事業委託料というふうなことで、いいことなんですけども、新しい事業が上がっています。この中で臨時的で、1回で終わる事業もあれば、すごいいい事業なんで毎年やっついこうというふうなことですと、やはり経常経費化すると。過去にも町長が就任されてから学校のICT推進事業だとかトップランナーとか、特産品開発とかまきストーブとか、いろいろ行っていると思います。

その中でこれから、これも総合計画のときに、若干審査のときに説明させていただいたんですけれども、人件費が2020年度に法の改正によって再任用職員の待遇改善がされる関係で、ある程度人件費が上がってしまうと。9億台…9億円ぐらいでおさまっていたのが10億3,900万円。前年が9億4,000万ですか。30年度予算に対して2020年度が10億3,900万に上がってしまうと。約1億円ぐらい上がってしまうと。町税収入が減少する中で人件費の増加傾向、これについては法律で定められているものですから、公共団体としては重視しなければいけないと。一方で、今お話ししたように、事務事業が立ち上げたもの、これが物によっては臨時的なもので落とせるんですけれども、やはり毎年やっついかなければいけないということで、経常経費化していくと。このことについて今後どういうふうなお考えでいられるのかね。ずっとやっついこうとやっぱり、必ずもう厳しくなって、投資的事業がなくなってしまうというふうに考えるんですけれども、この辺について初めに担当課長のお考えをお示してください。

政策推進課長　そうですね、今後やっぱり町民ニーズとですね、将来の子供たちの投資ということで、今後始まる小学校整備事業、そしてまた新松田駅周辺整備事業に向けて推進するために、やっぱり健全財政を維持していかなければならないというふうに財政として考えてございます。そうした中でですね、議会の皆様のほうにも御説明させていただいた財政推計のですね、管理的経費、あるいは政策的経費の中でもですね、臨時的に発生している委託料や補助的事業につきましては、町としても選択と集中という、町長のほうのお話にもありましたとおり、その観点で毎年点検をし、評価をし、また見直し、改善しというPDCAサイ

クルを毎年回していくという観点で、費用対効果が出る部分につきましては、ある程度3年ぐらいをめどに実証していくことが必要ではないかというふうには考えてございます。その中でもですね、財政としては優先的、あるいは必要性を十分踏まえた分析をし、行政サービス、今までの行政サービスを堅持し、進めていかなければならないということもございますので、それらの事業につきましてはですね、必要によっては見直し、あるいは廃止も検討の一つとして進めていかなければならないというふうに考えているところでございます。

またですね、今後やっぱり新たな財政指標の中で新公会計というものがございます。そのですね、財務書類を整備する中での、今、調整中ではございますが、発生主義の観点で正確な行政コストをですね、認識をし、行政サービスの提供に要したコストや資金の収支の状況もですね、一体的に調査をしていかなければならないというふうに考えてございます。そうした中で現在の事業や施策を見直し、あるいは資産の管理、またですね、職員の意識改革などもこの行政改革としてのツールとして活用し、支出の抑制に取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。以上です。

総務課長 田代議員の先ほどの御質問の中で、再任用制度が変わるというお話がございましたけれども、平成31年度にですね…あ、ごめんなさい。32年の4月からは会計年度任用職員の制度が法律で定められます。これは条例を改正していかなきゃいけない部分ですけども、31年度でその辺を整備してまいります。それは今現在、役場の中で雇用している臨時職員、あと嘱託員、報酬を支払っている嘱託員なども含めてですね、一般職員と同等の要は勤務形態にする。要は服務規程も同じようなものにしていく、ボーナスも支給するというような制度に変わっていきますので、その辺のところでは人件費の部分は伸びているということでございますので、御理解いただきたいと思います。

2番 田代 一応お二方の課長の話で概要はわかりました。詳細についてまた特別委員会でお聞きしたいと思いますので。町長ね、今お話ししたように、コンビニ収納はすごいいい制度だと思います。

あともう一方の、2つ目の関係なんですけど、担当課長お話ありましたけれどもね、町長としてはこれからやはり松田小学校、大事業かかります。それが

終わるごろに今度は新松田の駅前の整備事業ということで、本当に前向きに取りかかるんですけども、一方でやはりない袖は振れない、財政問題というのは一緒にセットになって考えられますのでね、この辺の考えについて、町長のお気持ちを、考えをお聞かせください。お願いします。

町長 それではですね、まず前提としてちょっとこれだけはお話をさせてください。まず、大事業をやるからということではなくてですね、私は就任をするときから話をして、その就任する前には職員はとらないというようなことを言って、選挙公約に掲げながらやらせてもらうぐらいに、とにかくお金を少しでも減らしていこうというふうな気持ちは当初から持っておりましたが、やはり中に入り、やらなきゃいけない仕事等々を見たときに、ちょっと新しくやっぱり数名必要だなという思いの中からですね、非常に恐縮だったというか、断腸の思いでといいましょうかね、皆さん方に御理解いただいて職員数をふやさせてもらったというような経過もございます。

そんな中、事業がとにかく、県や国から事業がふえてきている。でもやらなきゃいけない。しかし、県も、きょうの新聞にも載ってましたようにですね、少しずつ事業を県のほうでも持ってくれるだとかということもありますし、就任して以来、職員さんには私流でですね、叱咤激励をしながらですね、個々に能力を上げてきていただいているというふうに私も感じております。コンビニ収納だけではなく、アウトソーシング的な仕事、また指定管理ということで、どんどんどんどん外に出せば出すほど職員の仕事の量というのが若干減ってくるのではなかろうかというふうにも考えておりますし、個々の能力が上がれば一人前と言われるところからは1.2、1.3という仕事ができるようになればですね、非常に頼もしい戦力になってくるかと思うので、今後はそういった、先ほど課長も話がされたようにですね、必要な仕事の量をきちっと把握をし、また職員の能力もそれなりに把握した適材適所と言われるような配置計画もしっかり立てて、経費のとにかくそういった分での無駄にというふうになる部分ではなくですね、多少…無駄にならない余力を残しつつ、あとは災害のときにもですね、必要な職員数、メンバー数等々をバランスよく考えながら、人件費だけでなく、その他その辺の経費もですね、見ながらですね、全体の予算のバ

ランスを組めるようにですね、やっていきたいというふうには考えておりますので、その予算を削ることだけが目的で大きい事業にその予算が行くということではなく、我々もしっかりとそういった予算を組むに当たっての努力と町民の方々の御理解をいただきながら、全体の予算を組んで大型…大型といましようか、必要に応じた物件をですね、遂行していきたいというふうには考えております。以上です。

2 番 田 代 経営でうまくやっていくには繰越金ですよね。毎年度繰越金が2億前後ぐらいは出ていると思うんですけども、その中で積み立てをしたり、また翌年の繰り越したりというやりくりをしていると思います。そういう中で、やはり歳入が減ってくるんで厳しくなると思います。また、人件費については再任用制度の関係で、会計制度の任用職員ですか、そういったものも出てきますので、以前、専門職の任用ということで、例えば防災に強い自衛官とか、そういうお話もされたと思います。職員やはりオールラウンドプレーヤーではないんでね、やっぱりその時々、本当に必要な人材、早急に対応したいときにはそういったものをうまく利用しながら、なおかつ職員の人件費やはり抑えなきゃいけないと思います。その辺については、うまくかじ取りをしていただいた中で財政をうまく持って行っていきたいということを要望して、私の質問を終わります。以上です。

議 長 ほかに。

8 番 小 澤 今、前者のお話を聞かせていただきながら、31年度のこの予算書もしっかりと見させていただいているんですけども、大変厳しいのは現実ですよね。私、自主財源比率というものに非常にこだわって見ているんですけども、平成30年度、大体ここで補正が終わって、大体固まったのかなと思いますけども。自主財源比率が当初予算で42%が44%までちょこっと戻しましたけれども、しかし、平成31年度予算についても45%ということで、今までずっと50%を何とか維持していたものが割り込んできている。つまり、自主財源比率が下がるということは自治体の自主性がなくなっていくよということなんでね、かなり、これから先が思いやられるのかなというように思っています。

そういう中で、これから先、まだまだ保障費…社会保障費の伸びはとまらな

いし、今回の予算書を見ていっても物件費、それから義務的な経費というものが高どまりをして、下がる気配もない。つまり、財政が非常に硬直化をしていくということと、財務内容が悪化をしていく、こういう傾向がはっきりと見てとれるわけですね。この総合計画の審査特別委員会の最後にも書いてありますけれども、やはり議員の皆さんが財政状況のこと、それから財源確保がどうなるのか、健全財政の指標を出してくれよと、これは偽らざるところなんですね。一番やはり議員としても不安を感じているところであって、この事業を進めていくについてね、やはりもう返済額が、毎年毎年の返済額が平成40…平成じゃない。2048年までもう機械的に出ているんですよ。それで、返済額が5億を超えるような年が10年以上も続いていく。つまりこの部分の返済財源をどう確保していくのか、その目安をね、私は表示…出してもらいたいんですよ。それがないと、この予算書の中の、その小学校のここで設計委託料1億1,500万出て、これを認めるということは、これから先の事業も認めていくような形になるんでね、やはり議員としても、あ、返済がこういうようになってできるんだなというところをしっかりと示してもらわないと、なかなか、はい、わかりましたというわけにいかないと思うんですよ。

これは私も一般質問でも言いましたけれども、この返済財源をどこに求めていくのか、これをやはり具体的にね、これだけの事業計画をやって、これだけの町債発行するんだということがわかっているんだから、当然それに見合う財源の確保というものもやっているはずなんですよ。財務当局としては当然そこまで考えてこの事業をやっていこうということですから、その返済の部分についてなかなか具体的な説明がされてこない。これがないと、はい、わかりましたって言えないでしょう。その辺のところ、どうなんですか、具体的に出してもらわないと困るんですけども。御返答をお願いします。

政策推進課長　そうですね、今後の推計について毎年幾らの財源が確保されるかということは現状では、申しわけございません、確約した数字は出るところではございません。ただ、それに向けてですね、今後いろんな角度でですね、歳入をふやす対策として、町のほうの方針、町長の方針等を踏まえてですね、町有地等の売却、そしてそこにですね、新たな生産年齢人口を持ち込むという事業には積極

的に取り組んでいくということを含め、またですね、新たな町税外収入もですね、31年度からですね、積極的にやるということはございますので、それに向かって費用対効果の検証を毎年…あ、検証し、予算編成に向けてはその辺の報告を必ず議会のほうに報告して、一緒にですね、この大きな2つの事業に向けて取り組んでいきたいということでございます。以上です。

8 番 小 澤 毎年毎年どうするかというんじゃなくて、やはり長期にわたって、20年間、25年間、それがもう公債費がこうかかりますよと出ているんだから、それに対応すべきために経費の削減をどういう形で進めていくのか。細かい金額はいいですよ。その方向性をね、それを示してもらいたい。だから、クラウドファンディングをやって、とにかく小学校の建設基金を外部に求めていくんだとか、あるいは経費の削減をやっていくんだとか。今、31年度資料を見ていけば人件費はふえている。じゃあ、賃金が減ったかという、賃金もふえている。どこを削るんだというところが我々にはわからない。その辺は政策当局で、この部分を将来的にはこういうような形にしていきたいよというようにね、そういう、返済に向けた一つの体系づくりというものを示してもらわないと。今、課長の話でどうもその辺がまだはっきりしていないようなので、非常に、そこは私、寂しい部分でね、これはやっぱり、財政当局としてはその辺はやっぱりしっかり示してもらわないと、これから先、町民に対する説明、我々が、我々も町民の代表としてここへ出ているんですから。今度聞かれたときに、いや、返済原資はちょっと聞いてませんなんて返事できませんから、ここだけは私、ぜひしっかりとやっていただきたい。これはもう町長にお願いしますよ。そこをはっきりと出さないと、説明のしようがない。ひとつお願いします。

町 長 おっしゃるとおりだと思います。思いますというか、おっしゃるとおりでしょう。間違いなく。多分課長もいろいろ悩んで、今はこの程度で終わらしているんだろうと思いますけれども。例えば学校も今は大体シミュレーション、皆さん方に見せさせてもらっているところもありますけどもね、じゃあ、幾らクラウドファンディングで集まるのかというようなこととかが明確に答えられない。要は、せんだっての田代議員からもお話にもありましたように、まず目的を決めてこういった格好でやっていくというふうなことなんかは当然必要で

すし、先ほど来から、いつもいつも課長が言われるのは、町有地の売却という
ようなことがもうイの一番に出ちゃうんですけども、それであれば当然ですけ
どもね、どの段階でどうやって売って行って、幾らの金額でこうしていくのか、
それを財源を確保することによって駅前工事とか、学校だったらここで借り
入れを起こす本当の予定の分を、これを借入れを起こさないで済むだとかと
いうような、大方、一つ見通しと言いましょかね、見込みというか、そうい
ったものを出すことによって、借りるお金が減れば、当然返済する額も減れば
公債比率も減っていくわけですし、あとは…ということと、あとはこの駅の
ほうですよ。駅のほうも基金をためさせていただくことによって一応3,000と
いう数字は出させてもらっていますけども、いろんなさまざまな事業によって
それが3,500になるときもあれば、4,000になったりする。まちづくり課とも調
整はしていますけども、3,000万を例えば13年間ずつためていきながら、一般財
の持ち出しの分と、あと残った分は借入れを…借入額を減らしていくという
ようなことと言うと、大体ざっくり計算するとですね、大体4,000万で0.1%な
んですね、返済比率が下がるのが。なものですから、そういったことを考える
と、今、一番そういった歳入の部分は抜きにして、多分こうやってやっていく
とこうなりますよという、一番、何ですか、もうマックスの数字を出している
…なので余計に御心配されているところもあろうかと思うので、我々が努力し
なきゃいけないこと、そういった処分もしながらやっていくこと。あとは町民
の皆さん方に、ひょっとしたらその辺の計算上こういうふうにさせてもらいま
すよというようなこと、よく一般的に言われる受益者負担の原則に基づいてや
っていくこと。これは小学校の債務負担行為をお認めいただくときもそうです
し、さまざまな点で皆様方から、そういう町民の皆さんとのバランスをよく考
えた中で、行政と議会の皆さん方だけでいろいろ考えることだけじゃなく、町
民の方々にもお示しをし、御理解をいただく、御負担いただけるのは負担して
いくというようなことも言っていたので、何ですか、大方、あらかた、今度の
予算決算…予算のですね、審議会のときに一つこういうふうなことを案とし
て考えていますというふうなことはお示しができようとかというふう
に思っている部分もあります。間に合わなければ追って皆様方にお示しをした

いと思いますけども。今のままだとですね、本当に、何か不安なことだけが歩いてしまっていて、やることはいいんだけど、金があるのかと。いや、そういうようなことだけで、夢を語っててもですね、なかなかいけないので、きちっとした形で御提案をさせてもらいたいというふうに考えております。以上です。

8 番 小 澤 今、確かに町長言われたそのとおりでね、本来ならこの議会がある中で…あるうちにそういった返済原資がこうですよという説明が欲しいんですけども、ちょっと非常に厳しいような状況ですけれども、来年度、今度は事業計画の予算を実際認めていくわけですから、少なくともその前にね、やはり今言ったようなことのしっかりとやっぱり行政側から説明を、資料をくださいよ。だって、それがないと町民に対して説明のしようがない。そこだけはもう一日も早いような具体的なものを出していただきたい、そのことをお願いして終わりにします。

議 長 ほかにございませんか。

7 番 利 根 川 町長は平成25年に定住促進とか防災力の強化とか、いろんな政策を持って当選されました。そして、その政策を実行していくためには、当時のですね、平成25年当時の町の組織体制では政策実現できない。したがって、機構改革をさせてくれと。先ほど町長みずから述べられていますけれども、職員採用しないというマニフェストをですね、変換してまでも町の行政組織の見直しをさせてほしいということで、庶務課が総務課になり、総務課の中に防災担当室を置き、企画財政課を政策推進課にし、その中に定住促進担当室を置いたりですね、健康福祉課を2つに分けたりしてやってこられました。昨年4月の人事異動において、その基幹幹部である総務課長は防災担当室長を兼ね、政策推進課長が定住促進課長を兼ねてきました。そして私、9月のですね、決算議会の特別委員会で、私…町長出てられませんでしたけども、副町長に対して質問しました、この件に関して。田代副町長からの御答弁は、早速町長と相談しまして、半年たってしまいましたけれども、早急に配置したいという御答弁を頂戴しまして、半年たってしまって、とうとう1年たってしまう。このままでいくと、また配置されないかもしれない。幹部職員の中では相当退職者もいらっしゃいますのでね。人材がいるとかいないとかは別にしてですね、定数119名の範囲内で配置

をしなければならない。何のための機構改革か。私は非常に疑問に感じます。これでできるならば機構改革なんかする必要ない。なかったではないか。町長からこの辺、あなたの政策に基づいて機構改革をして、1年間そのまま。担当室長が課長兼務で1年間できるならばね、このままにしといて、もとへ戻したらどうですか。機構改革必要なかったでしょう。その辺、予算特別委員会で質問したいと思いましたが、特別委員会では町長出席されませんでしたので、副町長は去年の9月の特別委員会でそういう答弁いただいておりますので、ここで答弁をいただきたい、かように考えております。以上です。

町長 御質問ありがとうございます。今、119名という定員を頂戴した中で、現在115名プラス再任用というふうなことで、あとは臨時職員さん等々もですね、協力してもらっている中で今いるところでもございます。総務課の中ではですね、まあまあ、過去のことはいいとしましょう。これからまた4月に向けて人事等々もですね、退職者もいらっしゃるの、等と調整をしてみたいので、この方々がですね、担当室長、担当課長としているべきということで機構改革したところもありますから、その4月の人事異動のときにはですね、そういうことも勘案しながら、しっかりと対応してみたいというふうに考えております。以上です。

議長 いいですか。ほかに。

(「なし」の声あり)

ございませんか。この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております本案につきましては、議員11名による一般会計予算審査特別委員会を設置し、そこに付託の上、審査することにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。よって、議案第12号平成31年度松田町一般会計予算は、議員11名で構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、そこに付託の上、

審査することに決定しました。

ここで暫時休憩をしますので、議員は直ちに議員控室にお集まりください。休憩中に正・副委員長の選任をお願いします。決定しましたら議長まで報告をお願いします。暫時休憩といたします。(14時23分)

議長 休憩を解いて再開をいたします。(14時27分)

一般会計予算審査特別委員会の正・副委員長が選任されましたので、報告をいたします。委員長には10番 齋藤永君、副委員長には6番 飯田一君が選任をされました。委員の皆さん、審査をよろしくお願いを申し上げます。なお、私、議長はオブザーバーとして参加をさせていただきますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。

議長 以上で本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれをもって延会といたします。

お知らせをいたします。11日は午後1時30分より、工事等予定箇所の現地視察を行いますので、役場3階ロビーに御参集ください。1時30分よりでございます。12日は午前9時より、総務文教常任委員会委員の方は、付託されました議案第8号松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定についての審査を大会議室でお願いします。12日でございます。9時から総務文教。また、午後1時30分より、産業厚生常任委員会委員の方は、付託されました議案第1号松田町新松田駅周辺整備基金条例の審査を大会議室でお願いします。1時30分よりでございます。なお、13日は午前9時より、付託されました平成31年度松田町一般会計予算審査特別委員会を開催しますので、大会議室に御参集ください。9時よりでございます。14日は両方の委員会活動日としますので、委員長の指示をお願いします。14日は委員長の指示に従っていただきたいと思います。15日は本会議最終日となります。まず、午前中は休会。午後1時から議会全員協議会を開催します。15日は午後1時から全協でございます。午後1時30分より本会議を開催しますので、審議をお願いします。

本日はまことに御苦勞さまでございました。(14時29分)